



日野原重明氏

自ら環境づくり 「健やかな老い」迎えよう

名古屋ハートセンター
外山淳治・院長
(以下、外山)
私が生まれた一九三七年(昭和十二年)は、くしくも日野原先生が京都(帝国)大学医学部を卒業されて医師になってから七十一年間、現役の医者として活躍されてきた年です。そのために、先生は私の年齢分の七十一年間、世界に誇る総合病院で育て上げられました。これだけでなく、経営者としても聖路加国際病院を世界に誇る総合病院にて育て上げられました。これが、先生は私の年齢分の七十一年間、現役の医者として活躍されてきたことになります。

日野原重明・理事長(以下、日野原)
もうひとつの特徴としてあります。九歳の時にカリ・オ・バスニア大学のレオ・バスニアーカリアーという女性が書いた「葉っぱのフレディ」という子どもに命や春夏秋冬を教える本をミュージカルにしました。

外山 先生も出演さ

日野原重明 聖路加国際病院理事長 対談 外山淳治 名古屋ハートセンター院長



良い習慣生みだし 良い遺伝子伸ばす

外山 研究途上です

か。

日野原 まさにそう

です。三年後には十年

のデータが集まり、

結果が出ます。認知症

にならない八十五

歳を見ればその人の環

境がいいのだという追

跡調査の結果が出てき

ます。

日本が決して

ないようになります。

ね。

外山 使うない体

の部分はそのままにし

て使えることに集中

すればいいのですよ。

ね。

外山 私が医者の卵

だった頃、生活習慣病

は成り立つ

ました。文明が進めば

せください。

日野原 一九七七年(昭和五十二年)に「中央公論」に「文明

は心臓を蝕む」と書き

ました。文明が進めば

は成り立つ

ました。文明が進めば

は成り立つ